平成29年度　江戸川区立第四葛西小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○豊かに育つ四葛西っ子 ・元気な子　・やさしい子　・よく考える子　・やりぬく子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○家庭・地域に開き、共に歩む学校 ○友達と共に学級、学年、学校の文化を創り、発展させていく児童 ○組織的に教育活動を推進しつつ、自らの向上を図る教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞学校教育目標や学校経営方針の具現化をめざし、校務分掌組織を見直し、全教職員で推進した。また、若手教員の育成も図れた。 学力向上、体力向上、心の教育の充実に向けて、組織的に運営し、PDCAサイクルを確立させることができた。 ＜課題＞児童の実態および教育的課題を的確に把握し、新学習指導要領を踏まえた具体的対応策の立案、推進が今後必要となってくる。 家庭、地域と連携していくために、学校の教育活動、PTA活動をさらに保護者へ意識啓発していくことが課題である。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	評価指標・評価基準		自己評価			学校関係者評価		次年度に向けた改善策
			取組指標	成果指標	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
21世紀にふさわしい教育の推進	学校図書館活用の推進	学校図書館の環境整備 図書館を活用した授業の充実	図書館の整備 読書活動への取り組み	図書館での読書活動および探究的な学習	A	B	○新たな書架購入による整備 ●学校全体での共通の取り組み	B	図書ボランティアの方がとても熱心である。学校側も工夫がほしい。	各学年共通で取り組める読書活動
	ICTを活用した授業の推進	ICTを活用した協働学習等の授業の充実	ICTを活用した授業力向上 情報活用能力の育成	ICTを活用したわかる授業育成に向けた指導計画	A	B	○ﾀﾌﾞﾚｯﾄの有効活用 ●情報モラルへの十分な取り組み	B	スマホ安全教室は有効であった。さらなる啓発をお願いしたい。	児童の情報活用能力育成の系統的な指導
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	小中連携を踏まえた児童生徒の円滑な接続の充実	中学校との授業参観・意見交換会・・・年2回	各分科会における実践的な取り組み	A	A	○教科・道徳分科会の話合い ●さらなる情報共有と活用	A	近隣の中学校と連携していくことは、さまざまな効果がある。	教科・領域等の連携プログラムの作成実施
	オリパラ教育の推進	オリ・パラ教育を踏まえた5つの資質の育成に関する取組の充実	実施計画書に基づく取り組み・・・年間35h	ボランティアマインドの育成 障害者理解の促進	B	B	○オリ・パラルームの拡充 ●学習ノートの活用	A	オリ・パラルームが充実した。義足体験やゴールボールも有意義である。	ボランティア活動のさらさる推進
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	補習の実施等による、きめの細かい指導の徹底	補習タイム・・・年間35回	放課後補習の確保と児童の基礎的な学力の向上	A	A	○計画的な放課後補習の実施 ●さらなる指導の充実	A	今後とも時間を確保して、補習を行っていただきたい。	補習時間の確保と内容の充実
	確かな学力の向上	ベーシックドリル等を活用した国語、算数の基礎基本の徹底	診断シート・・年3回	算数診断シートの正答率	A	B	○朝学習や放課後補習での活用 ●平均正答率のさらなる底上げ	B	引き続き、基礎基本の徹底をお願いしたい。	ベーシックドリルの積極的な活用
	運動意欲の向上	休み時間や体育の授業における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	休み時間の全校運動遊び・・・週1回	集団運動遊びの取り組み	A	A	○計画的な運動遊びの取り組み ●運動遊びの質の向上	A	全校での運動遊びの取り組み、すばらしいです。	運動遊びの質の向上
相談体制健全育成の充実	いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期対応に関する対応の充実	いじめ対策委員会　不定期 特別支援委員会　毎月	いじめ　0 不登校児童の減少	A	B	○いじめをさせない取り組み ●不登校児童の減少	B	不登校児童の減少に向け、よろしくお願いします。	いじめ0、不登校0への取り組み
特別支援教育の推進	インクルーシブ教育の推進	特別支援教育の理解啓発と授業における工夫	特別支援委員会　毎月 研修会実施　学期1回	保護者アンケートでの肯定的評価	A	B	○情報の共有と共通理解 ●校内伝達研修の充実	B	子ども一人一人にあった適切な教育的支援をお願いします。	さらなる指導法の工夫
	エンカレッジルームの活用推進	支援を必要とする児童へのエンカレッジルームを活用しての支援の充実	環境の整備 校内体制の確立	保護者アンケートでの肯定的評価	A	B	○エンカレッジルームの整備 ●適切な支援の充実	A	30年度からの巡回指導に向け、よろしくお願いします。	効果的な活用方法